

第72回(令和5年度) 横浜文化賞 受賞者決定!

横浜市の最高顕彰である「横浜文化賞」の今年度の受賞者が決定しました。

受賞者は、令和5年7月31日に開催された横浜文化賞選考委員会(委員長:近藤 誠一 横浜市芸術文化振興財団理事長)において選考されました。

1 受賞者

(1) 横浜文化賞

芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々

(部門別 50音順・敬称略・年齢は9月22日現在)

部門	分野	氏名	年齢 /設立年	職業等
文化・ 芸術部門	芸術	おおつぼ きみお 大坪 喜美雄	76歳	能楽師
	芸術	なか 名嘉 ヨシ子	76歳	琉球箏曲家
	学術	横浜植物会	1909年 設立	植物同好会
社会貢献・ スポーツ部門	スポーツ 振興	アレックス・ラミレス (Alex Ramirez)	48歳	元横浜 DeNA ベ이스ターズ選手・監督 非営利団体代表
	社会貢献	いたばし さとる 板橋 悟	81歳	横浜市交通安全協会会長 会社経営

(2) 横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

文化・芸術部門において、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々

(50音順・敬称略・年齢は9月22日現在)

分野	氏名	年齢 /設立年	職業等
文化	NPO 法人ぶかぶか	2009年 設立	障害者就労支援事業所
芸術	レオ LEO	25歳	箏奏者

2 贈呈式・記念コンサート

日程: 令和5年11月14日(火) 13:30 開式

会場: 横浜みなとみらいホール 小ホール(西区みなとみらい2-3-6)

出演: ハマの JACK (NHK 交響楽団員を中心とした室内楽)

贈呈式・記念コンサートに市民の皆様(抽選で250名)をご招待します!

(別添資料をご参照ください)

お問合せ先

にぎわいスポーツ文化局文化振興課長 鬼木 和浩 Tel 045-671-3703

横浜文化賞

【文化・芸術部門】

○ おおつぼ きみお 大坪 喜美雄 能楽師

室町時代から続く能楽シテ方宝生流の技法を高度に体現する、現在を代表する能楽師。端正な舞と、繊細な曲趣を的確に表現する同氏の舞台は高く評価される。

多くの後進の育成にも尽力し、能楽の継承と普及・発展に対する長年の功績から、2022年、宝生流として全国唯一の重要無形文化財各個認定保持者（いわゆる「人間国宝」）に認定された。現在、市内在住者では、ただ一人の人間国宝である。

地元横浜とのつながりも深く、今年で第70回を迎えた「横浜能」や、障害の有無にかかわらず生の舞台を楽しめる横浜能楽堂の「バリアフリー能」などに多数出演。能の魅力を広く伝え、横浜の能楽文化の振興に長く貢献している。



○ なか よしこ 名嘉 ヨシ子 琉球箏曲家

那覇市に生まれ、8歳で琉球箏曲を始める。沖縄本土復帰の翌年に横浜市鶴見区に移り、以後、半世紀にわたり、琉球箏曲家として横浜と沖縄を中心に活躍している。

確かな技術に裏打ちされた、曲の的確な解釈と、舞踊家の持ち味を引き出す演奏が高く評価され、東京や那覇の国立劇場などに多数出演。海外公演にも参加し、琉球箏曲の魅力を世界に発信するほか、後継者の育成にも尽力している。2014年、横浜能楽堂での公演が、琉球芸能として初の文化庁芸術祭大賞を受賞。

これらの功績から、国の重要無形文化財「組踊」及び「琉球舞踊」の総合認定保持者に認定された、全国でも貴重な名手である。



○ 横浜植物会 植物同好会

1909年、植物研究を目的に、日本で初めて設立された植物同好会。

日本の植物分類学の草分けである牧野富太郎博士を指導者として出発し、初期会員には近代日本の著名な研究者が名を連ねた。市内での講演や植物標本の調査・分類、県内での植物の調査・採集を重ね、1933年に日本初の地方植物誌「神奈川県植物目録」を編纂するなど、明治から現代に至る日本の植物学の発展に大きな役割を果たした。「ヨコハマダケ」など、会員が発見した植物も多い。

植物や自然保護の普及・啓発にも力を注ぎ、環境大臣賞や横浜環境活動賞を受賞。創立114周年を迎える現在も、毎月の植物観察会や子ども向け講演会など、広く活動している。



横浜植物会 会旗

— 【社会貢献・スポーツ部門】

○ アレックス・ラミレス 元横浜 DeNA ベイスターズ選手・監督、非営利団体代表

2013年から、横浜 DeNA ベイスターズ選手として活躍。迫力あるプレーと明るい人柄で、多くの市民に親しまれた。2013年に日本通算2000安打を達成し、外国人選手として史上初の名球会入り。

2016年、外国人として初めて、横浜 DeNA ベイスターズ監督に就任。チームを球団初のクライマックスシリーズ及びファイナルステージ進出や、19年ぶりの日本シリーズ進出に導き、その手腕が高く評価されるとともに、横浜の街や人々を大いに沸かせた。2023年、これまでの功績から野球殿堂入り。

2020年、一般社団法人 VAMOS TOGETHER を設立し、スポーツを通じた社会貢献や、2023年「横浜グローバル・パートナーシップ大使」就任など、活躍の場を一層広げている。



○ いたばし さとる 板橋 悟 横浜市交通安全協会会長、会社経営

35年の長きにわたり、交通安全協会の役員等を歴任し、横浜市の交通安全に大きく貢献した。

2009年、今年で設立70周年を迎えた横浜市交通安全協会の会長に就任し、市内小学校での「はまっ子交通安全教室」や、交通安全活動に尽力した方々に対する「横浜市交通安全功労者表彰」などを実施。市民の命を守る交通事故のない社会を目指して、地域住民と行政、関係機関の連携を牽引し、街頭での交通安全の呼びかけを行うなど、日々の活動を続けている。

会社経営者として市内経済の発展にも多年尽力し、社会福祉への貢献から2011年に厚生労働大臣表彰、中小企業振興への功績から2019年に横浜市産業功労者表彰など、受賞多数。



横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

○ NPO 法人ぷかぷか 障害者就労支援事業所

「障がいのある人たちといっしょに生きていく」を理念に、横浜市緑区の団地でカフェバーカーリーやお弁当屋、アートスタジオ等の福祉事業所を運営するNPO法人。障がいのある人がアート作品制作や演劇ワークショップなどの創作活動を通じて、地域の人々と共生の輪を広げている。

障害のある人がプロの芸術家や地域の人と共に創り上げ、出演する演劇は、表現する喜びと創造的な舞台美術などエネルギーにあふれ、大きな感動を呼ぶ。絵画や歌、演劇から生まれる自由でいきいきとした自己表現は、「そのままのあなたが一番魅力的」との、人々へのエールともなり、今後の活動の広がりが大いに期待される。



○ LEO レオ こと 箏奏者

横浜生まれ。日本の伝統楽器である箏の若き実力派奏者。邦楽の伝統を受け継ぎながら、古典からクラシック、現代曲など、ジャンルを超えた多彩な演奏で高く評価される。

9歳で箏を始め、16歳でくまもと全国邦楽コンクールの史上最年少最優秀賞、文部科学大臣賞を受賞。19歳でメジャーデビューし、著名な指揮者や楽団との共演やメディア出演など、活躍の場を広げる。東京芸術大学在学中に出光音楽賞受賞。

2022年、名門ジャズクラブ「ブルーノート東京」や、ロック・フェスティバル「SUMMER SONIC」への出演でも注目を集めた。

箏の新たな魅力や可能性を拓く創造性と芸術性で、更なる活躍が大いに期待される。





柴田 祥子

海野 幹雄

海野 春絵

三又 治彦

村松 龍

桑生 美千佳

松井 理史

横手 梓

The 72nd
Yokohama Cultural Awards
Anniversary Concert

第72回横浜文化賞

贈呈式 記念コンサート

250名様
無料ご招待

2023
11.14(火)

開場 12:30 / 開式 13:30
(15:30 終了予定)

横浜みなとみらいホール 小ホール

主催 横浜市

[出演]
ハマのJACK

[曲目]
30分で世界旅行?! 様々な国の音楽を♪

- 《アメリカ》クローラ: バンジョーとフィドル
- 《日本》山田耕作: 赤とんぼ
- 《スペイン》カタロニア民謡 (カザルス編): 鳥の歌
- 《ウクライナ》ヘンリー・マンシーニ: ひまわり
- 《ロシア》チャイコフスキー: くるみ割り人形より
- 《オーストリア》シューベルト: ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章

横浜文化賞とは

横浜市では、1952年度(昭和27年度)から、芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興などの文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々に「横浜文化賞」を贈呈してきました。また、1991年度(平成3年度)の第40回からは、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々に「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」を贈呈してきました。

プログラム

第1部 式典

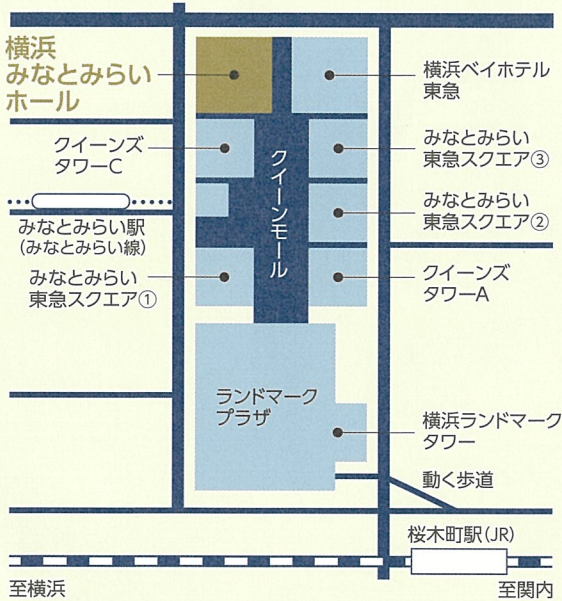
第2部 記念コンサート(約30分)

◆アクセス

横浜みなとみらいホール

横浜市西区みなとみらい2-3-6 クイーンズスクエア横浜

- みなとみらい線 「みなとみらい駅」徒歩3分
- JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩12分



記念コンサート 出演者：ハマのJACK

ハマのJACKは任意団体として、NHK交響楽団員を中心としたメンバーで2008年に発足、2011年4月に特定非営利活動法人としての認証を受け、特定非営利活動法人ハマのJACKとなる。

一流のクラシック音楽を、手の届きやすい価格設定で、子どもや高齢者、障害者も含めた一般市民にお届けすること、クラシック音楽文化を持続的に日本で根付かせていくために、若手演奏家を「金の卵」として発掘し、プロの演奏家たちと聴衆によって育てていくことを目指して、活動を続けている。特に、2011年以降開催している未来の演奏家を育成する「金の卵シリーズ」は、合格者がNHK交響楽団を中心としたオーケストラと共演できる他にはない独自性を有し、横浜のみならず全国各地から参加者が集まるなど、注目度も高い。

定期公演は55回を超え、クラシック音楽を使った子どものためのワークショップ事業、小学校や幼稚園などの教育機関、病院や施設などへの訪問演奏事業を行っている。これまでの活動の成果が認められ、令和3年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。



申込方法

横浜市在住、在勤、在学の方対象で、お一人につき、2名様までのお申込みができます。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

1 電子申請・届出システムからの申込み

10月13日(金)までに右記の二次元コードからお申込みください。▶



2 往復はがきによる申込み

- 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、希望人数(2名まで)を明記。
- 在勤・在学の方は、勤務先・学校名を記載。
- 手話通訳必要、車いすでの来場がある場合、明記。
- 返信用はがきには住所、氏名を明記。

締切日 10月13日(金)必着

申込み先 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
「横浜市にぎわいスポーツ文化局 横浜文化賞担当」
TEL.045-671-3714

 往信	231-0005 横浜市にぎわいスポーツ文化局 行	横浜市中区本町6-50-10
 返信	郵便番号・住所・氏名	お申込者の 郵便番号・住所・氏名
		●郵便番号、住所 ●氏名(ふりがな) ●電話番号 ●希望人数 ○人(2名まで) (市内在住でない方は) ●勤務先又は学校名 以下は、該当者の方のみ ご記入ください ●手話通訳必要 ●車いすで来場します
		(裏面)
(表面)		

●抽選結果は、10月25日頃(予定)に当選者へはがきでご連絡します。

※いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。